

発泡スチロール球で分子模型を作ろう in 小樽

2005. 6. 22 小樽分子模型の会 齋藤一郎

ichirokasetu@yahoo.co.jp <http://www17.plala.or.jp/ichirokasetu/>

たくさん参加してくれてありがとう

7月11日に小樽市いなきたコミュニケーションセンターで「発泡スチロール球で分子模型を作ろう」を行いました。

今回から参加費を1000円に値上げし、新たに道具代200円をいただくことにしました。発泡スチロール球の代金や会場費の計算をすると、どうしても今までの700円では足りませんでした。さらに孔定規や電熱線カッターは木製なので使うたびにどんどん壊れていたのです。きっと参加者数がぐっと減るだろうなと思っていましたが、12名も参加してくれました。ありがとうございました。

参加してくれた方々

齋藤恵理菜さん(小5)、栗野邦雄さん、宍戸圭太さん(小5)、高田浩寿さん(小4)、高橋剛さん(小5)、白澤憲典さん(小6)、中島みづきさん(小5)、広木大修さん(小5)、鬼沢吏さん(小5)、信田海貴さん(小5)、足立啓太さん(小6)、樋口大地さん(小6)

水とエチルアルコール

最初は「初めての分子模型づくり」を使って、道具の使い方を確認しました。まず電熱線カッターと孔定規を使い、水分子をつくりました。水分子の次はエチルアルコールづくりです。角度定規の使い方を確認しました。初めて分子模型を作る人もいましたが、しっかりと道具を使っていました。

みんな何をつくっていたのかな？

「初めての分子模型づくり」が終わってから、自分でつくりたい分子模型をそれぞれでつくってもらいました。感想用紙につくった分子模型についても書いてもらいました。次の分子模型をつくったようです。

みんながつくった分子模型

酸素、窒素、ダイオキシソ、セルロース、食塩、銅、ブタン、アンモニア、石けん、ベンゼン、水素、エチルアルコール、水、鉄、二酸化炭素

良い評価をいただきました

会の評価を5段階で書いてもらいました。結果は次の通りです。大変良い評価をいただきました。楽しんでもらえてうれしいです。

5. とてもたのしかった	…	9人
4. たのしかった	…	1人
3. どちらともいえない	…	0人
2. つまらなかった	…	0人
1. とてもつまらなかった	…	0人

会の感想を書いてもらいました

- ・びみょーなおもしろかったよーなふめーエへ☆ (斎藤恵理菜さん)
- ・セルロースを3人の6年生と合作で作りました。いや、とてもむずかしかったけど、あきてきた6年生には目標が出来てハリキってくれましたが、組み立て役の私には、とても難しかったです。でもセルロースは前からほしかったのです。植物の光合成の学習に必要なでんぷんからブドウ糖や砂糖そしてセルロースと一連の分子模型を見せる授業書としてできるといいなと思います。というのは小6の理科で文科省は光合成はいんげんの葉→でんぷんヨウ素反応で極めて適用の範囲の狭い学習なのです。地球の中ででんぷんは食物のトップになるもの、でんぷんの変化、動物のエサとして、体内での変化、私たち人間の生活の中ででんぷんが食料の他にどんなところで役立っているかなどを含めた授業書ができるといいなと思っています。いつも大変な労力を必要とする会を本当にありがとうございます。(栗野邦雄さん)
- ・次はいつですかー。まっていますよー。(高橋剛さん)
- ・また、来たい。(白澤憲典さん)
- ・おもしろかったー！！ なんかと中で勝手に休けいとった！ えりなちゃんといっしょにできてよかった！！ (中島みづきさん)
- ・まいど、まいどきてるので、たまーに、きたほうが、いいかもしれませんね。
(信田海貴さん)
- ・またきてみたいです。(足立啓太さん)
- ・分子を切るのが楽しかった。(樋口大地さん)